



令和7年3月21日発行

学校だより

第18号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教 育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

～ 令和6年度を終えるにあたり ～

校長 小澤 託

本校卒業式の3月19日(水)、前日の夜中からシトシトと降り始めた雨が、卒業生の登校時には雷が鳴る本格的な雨に変わり…。そして、卒業生の入場の時には季節外れの雪に…。

卒業遠足も雨の中の実施で、最後の卒業式も雪の中。

思わず、「せっかくのお式なのに…」という声が聞こえてきそうでしたが。

中学校の儀式的な行事の最も大切で、感動的な式である卒業式を多くの保護者の皆様、そして、来賓の皆様に見守られながら、素敵な式にすることができました。卒業生の保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。また、1, 2年生の保護者の皆様にはご報告という形でさせていただきます。ありがとうございました。

さて、修了式まで数日を残しておりますが、無事に令和6年度を終えることができました。これもひとえに、日頃から本校を支えていただいている保護者、地域の皆様のご理解とご協力があったからこそと思っております。

この一年の教育活動をとおして、見えてきた課題や改善できる所をもう一度見直し、来年度さらに生徒たちの良い点を伸ばすことができるよう努力していきたいと考えております。

ここで課題や長所などと言っておりますが、簡単にまとめます。

すでに、保護者の皆さんでもご存知の方もいると思いますが、3学期より授業終了の5分前に振り返りタイムの合図として、チャイムを鳴らしております。その取組について、1, 2年生の生徒にアンケートを取りました。

なぜ、この振り返りタイムを設定したかということ、最後の5分間で、その授業で学習した内容をきちんと復習する時間にしましょう、という意図があります。実は、そのアンケートから、生徒の素直な感想や思いが伝わってきました。この素直な感想や気持ちを伝えるというのは、非常に大切な力と言われております。

言葉にして発する。文字にして表す、様々な表現の仕方がありますが、総じて表現力とされています。この表現力をもっともっと伸ばすことができるのではないかと考えているのです。それぞれの学年で行った校外学習のpptの完成度や発表する内容、1年生で行ったビブリオバトルの発表、2年生のチャレンジザ・ドリームの報告など、生徒の表現する力はかなりの可能性を秘めています。また、そのアンケートの中に、家庭学習の必要性を質問してみたところ、75%の生徒が家庭学習や宿題が必要だと答え、1時間以上の家庭学習が必要だとする生徒が65%いたのです。これこそ、まさに生徒も感じる課題の1つだと考えられます。

サントリーの創業者である鳥井信治郎さんやパナソニックの創業者である松下幸之助さんの言葉でよく用いられるフレーズがあります。

「やってみなはれ。やらなわからしまへんで。」

この精神で、来年度も小さなことから様々なことにトライしてみたいと思います。